

公益財団法人 浜松市文化振興財団

令和 5 年度 事業計画

令和 5 年度 収支予算

令和5年度 事業計画

【概要】

1. 総括

令和5年度には、政府が新型コロナウイルスの感染上の位置づけを5類感染症に変更することから、社会経済活動の正常化は進むものと期待しています。

一方、エネルギーをはじめとする物価高騰は、様々な分野に影響を及ぼす様相を呈しており、運営を取り巻く環境の厳しさは、過酷になるものと懸念しています。

このような時こそ、守りに入るのではなく、創造性を源泉とし、芸術文化の歩みを未来に進めることが当財団のミッションと認識しています。

特に、浜松ならではの事業、その地域・施設の特長を活かした企画を創りだすなど、人をひきつける魅力や価値の創出への視点が重要と考えます。

令和5年度は、このような志を胸に、多様な芸術文化活動への展開により、人々の創造性をさらに喚起し、芸術文化が活力を生む創造性豊かな浜松市の実現に寄与します。

2. 芸術文化振興への主な取り組み

(1) 芸術文化公演の企画運営について

鑑賞型事業については、当財団の強みである舞台芸術に関する専門性を活かし、質の高い芸術文化の鑑賞機会の提供を目指します。

令和5年度は、海外からの招聘オペラ、アクトシティ浜松オリジナル演出となる能狂言、浜松ゆかりのアーティストや今後の活躍が期待される若手演奏家にスポットをあてた公演など、多彩なジャンルの事業を企画します。この中には、浜松国際ピアノコンクール等から育った演奏家の活躍の場を創出した公演もあり、蓄積した資産（これまでの事業から輩出した人材やネットワーク）を発展的に循環させた取り組みとなります。

(2) 芸術文化活動等の支援について

様々な分野の市民文化団体等が芸術文化を通し、地域の活性化や社会課題の解決に取り組む土壌づくりを目指します。

市民主体の文化的活動をより活性化させるため、当財団が担っている芸術文化を起点として、活動と活動の接点を増やし、人と人をつなげる懸け橋となります。これにより、活動単体では解決困難な案件について、新たな展開へのきっかけを生み出したいと考えます。

また、浜松アーツ&クリエイション事業では、創造性ある活動にトライする人材の発掘・育成・交流を更に促進するため、様々な支援活動に取り組みます。創造性ある活動について、活動の価値を多くの人に認めてもらうため、丁寧なヒアリングを通じた発信により、共感者をつなげていく支援に努めます。

(3) 浜松市とともに推進する共催・負担金事業等について

芸術文化のもつ効用を最大限に活かし、芸術文化を都市の活力につなげ、市民の誇りとなる取り組みを目指します。

浜松国際ピアノコンクール事業については、第12回（2024年）開催に向けて、募集要項の発表や出場者募集などの業務を進めるとともに、更なる周知に向け、ヨーロッパ圏でのPR事業を企画します。

次代の芸術文化の担い手の育成については、芸術文化に触れる機会の創出から世界で活躍するアー

ティストの発掘まで、アクトシティ音楽院事業を中心に、浜松市市民音楽ホール（通称サーラ音楽ホール）事業等との連携を活かし、市民が支える未来人材の育成に取り組みます。

3. 所管施設の運営について

(1) 指定管理施設の運営について

令和5年度は、引き続き10施設の管理を担います。

運営にあたっては、浜松市の「文化振興ビジョン」に示された各施設の担う役割を認識し、指定管理者協定に基づく適切な管理運営に取り組みます。

令和5年度は、原材料価格やエネルギーコストの上昇などが施設管理に大変深刻な影響を及ぼすものと推測しています。特に、アクトシティ浜松は、特別高圧受電のため、政府の総合経済対策の対象外となっており、厳しい環境に直面します。出来る限りの節減に努力し、効率的な運営を目指します。

また、浜松市の計画するアクトシティ浜松及び浜松市浜北文化センターの大規模改修工事については、工事計画等の策定に向け、最大限の協力体制で臨みます。

なお、クリエート浜松、浜松市浜北文化センター、浜松市なゆた・浜北、浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）、浜松文芸館、浜松市・市民ミュージアム浜北の6施設については、令和6年度に契約更新を迎えることから、次期指定管理の獲得に向けた提案を準備します。

(2) 施設の利用促進について

施設の利用促進を図るため、地域の実態、利用者のニーズなど、施設ごとの特徴をつかみ、適切な対応を進めます。

利用者との信頼関係を丁寧に築き、利用者の目的達成に向け、施設の機能を有効に活用する使用方法を積極的に提案するなど、その施設に価値を見出し、選んでいただける施設となるよう努力します。

4. 法人経営計画

社会や環境変化等に柔軟に対処するため、引き続き、常に運営を見直すことができる組織を目指します。

大規模地震などの自然災害等について、実践的な訓練等を通じて、マニュアルの継続的な見直しを図ります。具体的には、公演開催中の緊急速報受信時の対処について強化を進めます。

なお、令和5年10月からのインボイス制度の導入については、遺漏なきよう事務対応を進めます。

さらには、創造性ある職員の育成に向け、芸術文化の専門知識の向上、業務改善提案などにも取り組みます。

1 芸術文化を育成、振興するための文化事業の提供と、芸術文化の調査、情報収集、発信及び継承

(1) 芸術文化公演の企画、運営及び提供

① 事業方針

令和5年度は、コロナ禍で開催が難しかった海外からのオペラ、オーケストラの招聘公演のほか、クラシック、ジャズ、伝統芸能、吹奏楽など、多彩なジャンルの公演を企画します。

また、財団独自の選定による若手演奏家のシリーズ企画「アクト・ニューアーティスト・シリーズ」を継続開催するほか、浜松にゆかりのある芸術家による公演を積極的に取り上げるなど、これまで培ってきた経験とネットワークにより浜松オリジナルの事業を企画します。

② 重点的に取り組む事項

- 世界的な名演奏家たちによるコンサートシリーズ「アクト・プレミアム・シリーズ」は、現在、世界最高のメゾソプラノの評価を受ける藤村実穂子、幼少期に浜松国際ピアノアカデミーに参加、今や世界的人気ピアニストとなったアリス＝紗良・オットなど、豪華な出演者で開催します。
- オーケストラ事業では、第7回浜松国際ピアノコンクールにおいて、史上最年少で第3位に入賞した北村朋幹が名古屋フィルハーモニー交響楽団とともに登場、ピアノに加え、初めての指揮に挑戦します。また、海外オーケストラとして巨匠シルヴァン・カンブルラン指揮によるドイツの名門ハンブルク交響楽団、若き天才指揮者クラウス・マケラが率いるオスロ・フィルハーモニー管弦楽団の来日公演を開催します。ソリストにはYouTuber「かていん」としても大きな話題を集める角野隼斗と大人気ピアニスト辻井伸行が出演します。
- 大型舞台公演として、パレルモ・マッシモ劇場によるプッチーニのオペラ「ラ・ボエーム」、3年に一度の開催となる「アクトシティ能・狂言」では、人気狂言師、野村萬斎監修による浜松オリジナル演出の公演を開催します。
- 浜松ゆかりのアーティストでは、日本を代表するピアニスト仲道郁代のリサイタル・シリーズのほか、サクソフォーン奏者の第一人者である、須川展也のデビュー40周年記念コンサートを開催します。

事業名	会場	開催予定日	内容
アクト・ニューアーティスト・シリーズ (クラシック界注目の若手演奏家によるアクトシティ独自のシリーズ企画)			
No. 138 渡邊紗蘭 (ヴァイオリン)	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	5/14	第91回日本音楽コンクール第1位
No. 139 児玉隼人 (トランペット)		7/30	第30回日本クラシック音楽コンクール第1位
No. 140 太田糸音 (ピアノ)		9/24	第8回仙台国際音楽コンクール第3位
No. 141 黒木雪音 (ピアノ)		12/10	第12回ダブリン国際ピアノコンクール第1位 リスト・ユトレヒト2022第1位
No. 142 石井希衣 (フルート)		2/18	第10回神戸国際フルートコンクール第3位

事業名	会場	開催 予定日	内容
アクト・プレミアム・シリーズ (一流演奏家によるコンサートシリーズ。コンサートホールである中ホールで開催するプレミアムなコンサートを展開。)			
Vol. 31 ネマニャ・ラドゥロヴィチ (ヴァイオリン) presents ドゥーブル・サンズ (弦楽合奏&ピアノ/ チェンバロ)	アクトシティ浜松 中ホール	4/25	ハノーファー国際コンクール他5つのコンクールで第1位を獲得、世界的に活躍するヴァイオリニストと室内楽団「ドゥーブル・サンズ」によるコンサート。
Vol. 32 藤村実穂子 (メゾソプラノ)		10/2	欧州で現在世界最高のメゾソプラノの評価を受けるメゾソプラノ歌手。2022年にはソリストとして参加したマラー「千人の交響曲」が米グラミー賞を受賞。
Vol. 33 アリス=紗良・オット (ピアノ&映像)		12/1	大人気ピアニスト、アリス=紗良・オットによる、現代曲と映像の世界。
Vol. 34 ハンスイェルク・シェレンベルガー&マルギット=アナ・シュース (オーボエ&ハープ)		2/2	ともにベルリン・フィルで活躍した世界最高峰のオーボエ奏者、シェレンベルガーと「ハープの女王」アナ・シュース夫妻による名曲をお届けする。
Vol. 35 ジャン=エフラム・バヴゼ (ピアノ)		3/18	欧州を中心に活躍するフランス人ピアニスト。
The Road to 2027 プロジェクト in 浜松 仲道郁代 ピアノ・リサイタル Vol. 7 「劇場の世界」	アクトシティ浜松 中ホール	5/13	浜松出身の日本を代表するピアニスト、仲道郁代が自身の演奏活動40周年となる2027年に向けて取り組むリサイタル・シリーズ。
ディズニー・オン・クラシック ~夢とまほうの贈りもの 2023	アクトシティ浜松 大ホール	6/11	ディズニー音楽を、物語を紡ぐ映像とともに、日本人ヴォーカリストとオーケストラの生演奏でお贈りする。 共催：K-mix
パレルモ・マッシモ劇場 「ラ・ボエーム」	アクトシティ浜松 大ホール※	6/21	イタリア・オペラを代表する作曲家、プッチーニが19世紀前半のパリに集った貧しくも自由に生きる若き芸術家たちの生活を描く傑作オペラ。 共催：コンサート・ドアーズ
シルヴァン・カンブルラン指揮 ハンブルク交響楽団 ピアノ：角野隼斗	アクトシティ浜松 大ホール	7/14	巨匠シルヴァン・カンブルランとドイツ・ハンブルクの名門オーケストラの協演。ピアノはYouTuber「かていん」としての活動も話題となっている角野隼斗が登場。 共催：日本アーティスト
国府弘子の ファンタスティック 8	アクトシティ浜松 中ホール	7/17	日本のジャズ&フュージョン界のトップランナー、国府弘子と7人の仲間たちが贈る特別なジャズ・コンサート。

事業名	会場	開催 予定日	内容
第17回浜松いわた信用金庫 「夢に追いかぜコンサート in 浜松」	アクトシティ浜松 中ホール	7/23	毎年恒例のファミリーを対象としたクラシック コンサート。 共催：浜松いわた信用金庫、浜松交響楽団
服部百音 ヴァイオリン・リサイタル	アクトシティ浜松 中ホール	8/11	ボリス・ゴールドシュタイン国際ヴァイオリン コンクール優勝、出光音楽賞ほか数々の賞を受 賞している若手注目のヴァイオリニスト。
松竹大歌舞伎	アクトシティ浜松 大ホール※	9/5	恒例の歌舞伎巡業公演。公演前には歌舞伎の世 界をより楽しめる鑑賞講座を開催。
The Road to 2027 プロジェクト in 浜松 仲道郁代 ピアノ・リサイタル Vol.8 「ブラームスの想念」	アクトシティ浜松 中ホール	10/15	浜松出身の日本を代表するピアニスト、仲道郁 代が自身の演奏活動40周年となる2027年に向け て取り組むリサイタル・シリーズ。
クラウス・マケラ指揮 オスロ・フィルハーモニー 管弦楽団 ピアノ：辻井伸行	アクトシティ浜松 大ホール	10/20	オスロ・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮 者、バリ管弦楽団音楽監督に就任した若き天才 指揮者、クラウス・マケラと辻井伸行の協演。 共催：静岡朝日テレビ
ジブリの思い出がいっぱい ～オーケストラによる ドリームコンサート 2023～	アクトシティ浜松 中ホール	10/28	心に響くジブリの思い出の名曲をオーケストラ とともにお届けする。 共催：サモンプロモーション
野村萬斎監修 「アクトシティ能・狂言」	アクトシティ浜松 大ホール※	12/17	3年毎に開催している大人気狂言師、野村萬斎に よる浜松オリジナル演出の能・狂言公演。 公演前には能・狂言の世界をより楽しめる鑑賞 講座を開催。
ディズニー・オン・クラシック	アクトシティ浜松 大ホール	12/24	ディズニー音楽を、物語を紡ぐ映像とともに、 オーケストラの生演奏でお贈りする。 共催：K-mix
北村朋幹指揮・ピアノ 名古屋フィルハーモニー 交響楽団	アクトシティ浜松 中ホール	2/12	第7回浜松国際ピアノコンクールにおいて史上 最年少で3位入賞を果たした、北村朋幹弾き振 りによるコンサート。
石田組	アクトシティ浜松 大ホール	3/3	ヴァイオリニスト石田泰尚に招集された第一線 で活躍するオーケストラメンバーによる弦楽合 奏団。 共催：テレビ静岡
須川展也 デビュー40周年記念コンサート with ヤマハ吹奏楽団（仮称）	アクトシティ浜松 大ホール※	3/31	浜松市出身のサキソフォーン奏者の第一人者で ある、須川展也のデビュー40周年を記念したコ ンサート。須川氏と関わりが深いヤマハ吹奏楽 団の協演でお贈りする。
富士山静岡交響楽団 定期演奏会（浜松公演）	アクトシティ浜松 中ホール	5/28 6/25 7/16 9/17 11/19	地元プロ・オーケストラによる定期演奏会。 （名義共催事業）

※印 大ホール中規模（1・2階席）で開催。

(2) 芸術文化事業の調査、情報収集及び情報提供

① 事業方針

令和5年度は、前年度に引き続き YouTube や SNS の活用により、若年層への情報発信やチケットの販売促進に取り組みます。

また、多彩な事業を展開している財団の活動を、市民やお客様、事業関係者など様々なステークホルダーに知っていただくため、文化情報誌「HCF News」の発行や活動紹介映像の制作などを通して広く発信します。

友の会においては、デジタルを活用したサービスの向上を目指し、前年度に実施した会員証のスマートフォン対応化に続き、スマートフォンで支払いができるようチケットセンターにキャッシュレス決済を導入するとともに、オンラインショップでのチケット販売の促進やメールでの情報配信などのデジタル化を進めます。

これらの活動により、財団の事業を多くの方に伝え応援していただくとともに、様々な世代が事業に参加していただくことで、本市における芸術文化活動の活性化につなげていきます。

② 重点的に取り組む事項

ア アクトシティ浜松友の会「ビバーチェクラブ」の運営

(ア) 財団主催事業や受託公演の情報提供として、毎月会員へダイレクトメールを送付

(イ) 財団主催事業や受託公演のチケット販売（チケット代金の10%を会員割引）

・電話予約もしくはオンラインショップによる予約

(ウ) 会員へのサービス提供

・文化情報誌「HCF News」及びイベントカレンダーの送付

・浜松市楽器博物館入館料の割引

・オークラアクトシティホテル浜松及びアクトプラザ店舗の利用サービス

・会員招待公演の実施

イ 広報活動

活動名	内容
財団公式ホームページサイト管理運営	https://www.hcf.or.jp/ 企画事業及び財団所管施設の紹介のほか、法人としての最新情報やお知らせを発信。
SNSによる情報発信	YouTube や SNS (Facebook、Twitter、Instagram) を活用した広報活動を展開。
情報誌「HCF News」の発行	発行部数 10,000 部、年 4 回発行。電子書籍による公開も実施。 財団事業及び施設紹介、ホテル飲食店紹介等を掲載。
財団事業活動報告書及び活動紹介映像の制作	令和 4 年度事業活動報告書の発行・配布のほか、活動紹介映像を制作および web 上で公開。
事業の広報	事業のチラシ・ポスター等の製作、配布及び各種広告・広報媒体へ情報を掲出。
デジタルサイネージの活用	アクトシティ内財団事務室、市民ロビー他での映像による事業広報を行う。
アクトシティ浜松イベントカレンダーの発行	発行部数 9,800 部、隔月発行。 クリエート浜松・サーラ音楽ホールなど財団所管文化施設、図書館、協働センターなど市内文化施設、ホテル等への配布。

ウ HCF オンラインショップの運営

(ア) チケット販売（受託販売を含む）

- ・チケットセンターでの引き換え（友の会会員のみ）、宅配、コンビニ発券、電子チケットいずれかを選択可能。

(イ) グッズ販売（財団作成 CD・DVD・書籍・記念商品など）

【取扱商品】

- ・浜松国際ピアノコンクール関連製品（CD）
- ・バンド維新関連製品（CD・スコア集・パート譜）
- ・浜松市楽器博物館関連製品（CD・DVD・記念商品）
- ・浜松市秋野不矩美術館関連製品（図録、グッズ）

エ アクトシティ浜松インフォメーション・チケットセンターの運営

(ア) アクトシティ施設案内、公演情報の提供

(イ) 財団チケット販売専用端末の設置及びチケットの販売（主催公演及び受託公演）

- ・4月よりチケット代金の支払いにキャッシュレス決済を導入

(ウ) アクトシティ友の会会員へのチケット販売及び引き換え

(3) 芸術文化活動の支援及び交流の促進

① 事業方針

浜松市民文化フェスティバルは、公募等による出演者募集を取り入れ、任意団体の参加を可能にするなど、既存の組織以外での出演もさらに進める運営とします。コロナ禍で低迷していた商業施設・医療施設・介護施設などで開催されるミニコンサートは、開催希望が徐々に回復傾向にあるため、主催者と演奏家をつなぐマッチング事業にも注力し、演奏家の支援と芸術文化に気楽に触れることのできる場の提供に努めます。

また、音楽の都“浜松”の先駆的な事業としてバンド維新や東京藝術大学との早期教育プロジェクトに取り組むとともに、富士山静岡交響楽団との共催による0歳から入れるコンサートや指導者の育成事業などにも取り組みます。

さらに、アーツ&クリエイション事業により芸術文化の持つエネルギーを浜松が培ってきた歴史性や経済性を含む地域文化と融合し、新たな視点から「まちの創造力」を養う土壌づくりを行います。芸術文化から浜松の持つ力を視覚化し、また発信する人々へのサポートを行い、当財団は専門性あるつなぎ手として、創造的活動に取り組む市民とともに悩み、創造の喜びを分かち合う有機的な活動体として、組織一体となり活動を支援します。

② 重点的に取り組む事項

- ・市民の日頃の活動成果の発表と団体間の交流及び新規団体の参加を目指し、浜松市民文化フェスティバルや浜松市芸術祭演劇・人形劇部門を開催します。
- ・各施設でのミニコンサート主催希望者と演奏者とのマッチング事業を行い、地域で活躍する演奏家の支援及び文化芸術鑑賞の機会を提供します。
- ・吹奏楽の新作への取り組みを通じて小中高校生や地元指導者と一流作曲家が交流するバンド維新、吹奏楽の指導者向け講習会、中日新聞社と共催する中部日本吹奏楽コンクール、東京藝術大学との協働による子どもの可能性を引き伸ばすプロジェクトなどを通して、子どもたちや指導者の音楽的素養の向上を図ります。
- ・0歳から入れるクラシックコンサートを開催し、幼少期から音楽や舞台芸術に触れる機会を創出します。
- ・本市におけるジャズの大イベントであるハママツ・ジャズ・ウィークを、浜松市や民間企業と共催で開催します。
- ・浜松アーツ&クリエイションでは、市内における創造的な活動を支援するため、活動に対する相談や助言などの伴走支援のほか、補助金の交付や課題解決のためのセミナー開催など、浜松版アーツカウンシル事業を展開します。また、創造的な活動の気運作りも促し、創造力・人間力を持ったアーティストとともにパイロット事業を展開します。
- ・地域の芸術文化活動の充実と活性化を目的に、市民の活動への助成や情報発信、チケット販売促進など、市民活動に対し総合的な支援を行います。

ア 文化振興事業

事業名	会場	開催予定日	内容
第53回 日本吹奏楽指導者クリニック	アクトシティ浜松	5/19～21	学校及び一般音楽指導者を対象とした講座・コンサート・バンドフリーマーケットの総合講習会。
浜松市民文化フェスティバル 2023	アクトシティ浜松 他市内諸施設	8～11月	地元市民団体や学校による音楽・舞踊公演及び展示会。連盟や協会所属団体、市民公募による出演枠により全11部門を実施。
第66回 中部日本吹奏楽コンクール本大会	アクトシティ浜松	9/30・10/1	静岡・愛知・岐阜・三重・長野・滋賀・福井・石川・富山の中学・高等学校吹奏楽部代表によるコンクール。 共催：中日新聞社、浜松市
第31回 ハママツ・ジャズ・ウィーク	アクトシティ浜松 他	10/14～22	ジャズの恒例イベント。浜松市がジャズ一色になるほど多数のイベントを開催。 共催：浜松市、ヤマハ株式会社、静岡新聞社・静岡放送、ヤマハ音楽振興会
第69回 浜松市芸術祭演劇・人形劇部門	アクトシティ浜松 クリエート浜松 浜北文化センター他	10～12月	市内の劇団による演劇・人形劇の公演。 (全6公演)
東京藝術大学音楽学部 早期教育プロジェクト2023 in 浜松	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	11/11・12	東京藝術大学と地域とが協働して取り組む逸材発掘プロジェクト。子どもの音楽的な可能性を引き伸ばす方策を探るとともに、子どもが相互に刺激し学び合う環境づくりを行う。
バンド維新	アクトシティ浜松	3/3	吹奏楽をテーマに市民・団体・指導者・作曲家の交流を促し、次世代を担う市民の活動・交流を支援し活発化する。
0歳から入れる クラシックコンサート in 浜松 「三大バレエを聴こう！」	浜北文化センター 大ホール	12/3	富士山静岡交響楽団による幼児と保護者向けの演奏会。 共催：静岡県、静岡県文化財団
市民講座 「絵画と音楽」(仮称)	未定	未定	絵画と音楽を題材にした文化講座。 年3回程度開催。
演奏会運営事業	市内各所	通年	コンサートを主催したい施設の運営サポートを行うとともに、地域の演奏家に活動の場を提供。

イ 浜松版アーツカウンシル事業

事業名	会場	開催予定日	内容
浜松アーツ&クリエイション 事務局運営 (浜松版アーツカウンシル)	—	通年	浜松版アーツカウンシルとして、中間支援組織を運営。浜松市創造都市推進事業補助金の公募から事業実施に対する相談・助言などの伴走型支援を実施。加えて、補助金交付団体以外の市内芸術文化団体にも同様の伴走型支援や課題解決に向けたセミナーなどを開催。令和4年度に引き続き、浜松地域の芸術文化に関する調査研究も行う。

ウ はままつ文化芸術活動助成事業

地域の芸術文化活動の充実と活性化を目的に、市民の文化活動を支援します。

- ・支援の内容：助成金の交付（上限額10万円）、広報活動支援、販売促進支援など

エ 浜松市内文化団体・文化協会

(ア) 浜松市浜松文化協会

旧浜松市で活動する主要文化団体によって構成され、各団体の活動状況の把握や意見調整等を行います。

(イ) 浜松市内文化協会連絡会

合併後、浜松市となった地域の文化協会（11団体）によって構成され、広域となった市の文化状況を把握するとともに支援を行います。

また、実施する文化活動に対し、「浜松市内文化協会助成金」を交付します。（上限額15万円）

オ インターンシップ実習

県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れを行います。

(4) 浜松市の行う芸術文化事業の受託と協力

① 事業方針

音楽の都“浜松”を目指し、次の世代を担う人材の育成や都市間交流、まちなかコンサート、浜松国際ピアノコンクールなどの事業を浜松市とともに推進します。

次代を担う音楽人材の育成として、ジュニアオーケストラ浜松やジュニアクワイア浜松、アクトシティ音楽院のほか、小学5年生全員を対象にしたオーケストラ鑑賞事業を開催します。また、音楽文化都市交流協定を結んでいる札幌市や宝塚市との交流として、各都市の音楽祭への出演や地域の演奏団体との交流を行います。

プロムナードコンサートをはじめとした街中でのコンサートを通して、音楽の都“浜松”の玄関口を音のある風景として発信することで、市民の音楽活動の促進と街中の活性化を図ります。

浜松国際ピアノコンクールは、令和6年度の第12回コンクールへ向け募集要項の発表、出場者募集業務を行います。また令和2年度に開催を予定していましたがコロナ禍のため中止となった国際音楽コンクール世界連盟総会の開催を支援します。

② 重点的に取り組む事項

- ・ジュニアオーケストラ浜松やジュニアクワイア浜松、浜松吹奏楽大会、こども音楽鑑賞教室など子どもたちが音楽に触れるとともに、自らが演奏する活動を通して、子どもたちの豊かな感性と創造力を育みます。
- ・アクトシティ音楽院では、浜松国際ピアノアカデミーや浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバルにより、浜松から世界で活躍する演奏家の輩出を目指すとともに、市民が参加できる吹奏楽やジャズ、合唱、主催者育成のための講座などを開講し、市民の音楽活動の活性化を図ります。
- ・アクトシティ浜松での人材育成事業と浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）や浜松市天竜壬生ホールでの育成事業が相互に連携し、音楽の都“浜松”の未来を担う人材の裾野拡大から世界で活躍する人材の発掘・育成までを推進します。
- ・街中で開催する各種コンサートを通して、浜松への来訪者に音楽の都“浜松”を発信するとともに、市民に屋外演奏の機会を提供します。
- ・国際音楽コンクール世界連盟総会や欧州での優勝者公演などを通じて、浜松国際ピアノコンクールの国際的なPRを進めます。

ア パイプオルガン関連事業

事業名	会場	開催予定日	内容
オルガンミニコンサート	アクトシティ浜松 中ホール	6/16 8/19 11/9 2/9	アクトシティのパイプオルガンをより多くの市民に知っていただくための無料の短時間コンサート。
オルガンのパイプを作ってみよう	アクトシティ浜松 中ホール	8/14	夏休みの小中学生向けワークショップ。オルガンの音の鳴る仕組みを学びながら、紙でパイプを作成。
オルガン演奏会事業	福祉交流センター	5/24 10/4 12/14 3/6	福祉交流センターのパイプオルガンを通じて、市民のオルガンに対する理解や関心を深める。

イ まちなかコンサート開催事業

事業名	会場	開催予定日	内容
プロムナードコンサート	JR 浜松駅北口広場 「キタラ」他	4～11月	市内の学校及び一般の吹奏楽演奏団体が出演する屋外コンサート。市民に発表・鑑賞・交流の機会を提供。 協力：浜松市吹奏楽連盟
街かどコンサート	ギャラリーモール 「ソラモ」	7/2	市内で活動する合唱団が出演する屋外コンサート。 協力：浜松市合唱連盟
まちなかにぎわいコンサート	JR 浜松駅北口広場 「キタラ」他	4～10月	市内音楽愛好家団体が公演をプロデュース。合唱・ジャズ等の多彩なジャンルの団体が出演する屋外コンサート。

ウ ジュニアオーケストラ浜松・ジュニアクワイア浜松運営事業

事業名	会場	開催予定日	内容
定期練習	市内諸施設	通年	団員の募集・育成・公演をマネジメント。音楽を通じて、豊かな感性を備え、文化的視野を持った青少年の育成を目的とする。
第29回定期演奏会	アクトシティ浜松	9/3 9/10	
スプリングコンサート2024		3/10	

エ 浜松吹奏楽大会事業

事業名	会場	開催予定日	内容
浜松吹奏楽大会2024			
第12回 全国中学生交流コンサート	アクトシティ浜松 中ホール	3/23	吹奏楽の普及とレベルの向上を目的とした全国規模の事業。キタラでのプロムナードコンサートをはじめ、市内中学校を会場とした地域交流プログラム、全国から参加した高校生の交流会等の関連イベントも同時開催。
第36回 全日本高等学校選抜吹奏楽大会	アクトシティ浜松 大ホール 他	3/24	

オ 都市間交流事業

事業名	会場	開催予定日	内容
音楽文化都市交流事業	札幌コンサート ホール Kitara 他	10～11月	本市が音楽文化都市交流協定を結んでいる札幌市や宝塚市との演奏交流事業。

カ こども音楽鑑賞教室事業

事業名	会場	開催予定日	内容
第23回こども音楽鑑賞教室	アクトシティ浜松 大ホール	2/14・15 全4回公演	市内全小学5年生を対象に良質なオーケストラ演奏に触れる機会を提供。

キ アクトシティ音楽院事業

事業名	会場	開催予定日	内容
アカデミーコース（世界レベルで活躍する演奏家の育成と世界に向けた音楽文化発信事業）			
第29回浜松国際管楽器 アカデミー&フェスティバル	アクトシティ浜松	8/1～6	国内外演奏家を講師として迎え、管楽器の奏者を育成するための短期セミナーと、講師陣によるコンサートを開催。
バークリー音楽大学事業	アクトシティ浜松	2月	アメリカ・バークリー音楽大学との連携事業。大学教授らによる入学オーディションやジャズクリニックを開催。
浜松国際ピアノアカデミー 2024	アクトシティ浜松	3/3～10	世界的ピアニスト育成のためのマスタークラスと市民を対象とした講座・イベントを開催。
修了生公演事業	市内小中学校 他	随時	アクトシティ音楽院修了生に、市内外の音楽活動の場を提供する公演企画。
コミュニティコース（市民が参加・体験できる講座の開催と人材育成事業）			
ジャズクリニック	市内諸施設	日時未定 (全3回)	守屋純子氏他による市内学校・音楽団体を対象とした指導。
吹奏楽セミナー	アクトシティ浜松	4/9	保科洋音楽監督を講師に、吹奏楽課題曲講習会を開催。
	市内小学校 他	4～2月 (全5回)	浜松ジュニアプラスを対象としたパート別講座と基礎合奏を学ぶ合奏講座他を開催。
	未定	未定	楽器編成や演奏表現の可能性を探る指導者向け講座。
ジャズ譜貸出事業	—	通年	金管バンド用、吹奏楽用等に編曲したジャズ譜を、市内アマチュア音楽団体を対象に無料貸し出し。
「交響組曲『ピーターパン』 (吹奏楽版)」音源・楽譜貸出事業	—	通年	教育文化奨励賞受賞、浜松ゆかりの芸術家佐藤賢太郎氏が制作した楽曲の音源・楽譜を、アマチュア音楽団体へ無料貸し出し。
主催者育成セミナー	アクトシティ浜松 研修交流センター	5～3月 (全12回)	演奏家と聴衆を繋ぐ役割としての音楽イベント主催者を育成。事業開催実践セミナー。2月に受講生の企画によるコンサートを開催。

事業名	会場	開催予定日	内容
合唱セミナー	アクトシティ浜松	1月	広く一般に合唱を普及させるためのセミナーを開催。
音楽指導者派遣事業	市内学校・団体	通年	音楽指導者登録者を地元の音楽活動へ派遣し、音楽活動の活性化と人材活用を図る。
子ども音楽セミナー	市内諸施設	11～12月	小中学生を対象にした吹奏楽、洋楽、邦楽の体験型セミナー等を開催。

ク 浜松国際ピアノコンクール事業

(ア) 第12回コンクール開催準備

- あ 実行委員会・運営委員会の開催
- い 公式ウェブサイトの公開
- う 募集要項の発表、出場者募集
- え 優勝者・入賞者特典の調整

(イ) 国際音楽コンクール世界連盟総会の開催 (5/31～6/3)

(ウ) アーリンク・アルゲリッチ財団との提携

(エ) 関連事業の開催

- あ 指揮・ピアノ 北村朋幹 名古屋フィルハーモニー交響楽団
(2/12 アクトシティ浜松中ホール)
出演：北村朋幹 (第7回浜松国際ピアノコンクール第3位)
- い 浜松国際ピアノコンクールPR公演
(1/19 イギリス・ロンドン)
出演：小川典子 (第12回浜松国際ピアノコンクール審査委員長)
ジャン・チャクムル (第10回浜松国際ピアノコンクール第1位)

2 芸術文化活動促進と地域社会活性化の拠点となる施設の整備、貸与及び運営

(1) アクトシティ浜松

① 運営の考え方

令和5年度は、コロナ禍で定着したネット環境を活用した施設利用やコンベンション開催など、多様に変化する開催形態について、新たな需要に対応した運営を進めます。

充実した通信環境をより活用していただくため、ホームページ等において積極的に発信することにより利用促進に取り組むほか、サポートサービスのさらなる充実を図り、利用者の満足度向上を目指します。

また、コロナ禍におけるオンライン配信やハイブリッド形式での学会開催などで培った知識と経験を活かし、ハード・ソフトの両面から主催者をサポートすることにより、アフターコロナを見据えたコンベンションの誘致を進めます。

引き続き、稼働率や開催件数などの数字だけでは見えてこない利用者のニーズに誠実に対応することで、選ばれる施設を目指します。

さらには、株式会社アクトシティマネジメント等と連携を図りながら、施設利用者だけでなく、NHK大河ドラマ「どうする家康」関連も含めた多くの皆様がアクトシティ浜松に集うためのきっかけ作りにも取り組みます。

② 重点的に取り組む事項

- ・インターネットを活用した会議や配信会場としての利用が定着してきていることから、新たに改善した研修交流センターおよび展示イベントホールの通信環境を積極的にPRすることにより、利用促進に努めます。
- ・コンベンションの誘致活動では、立地の優位性などに加え、これまでの開催実績の豊富さとコロナ禍での経験値をアピールすることにより、将来を見据えた大型コンベンションの誘致を浜松・浜名湖ツーリズムビューローと連携して進めます。
- ・サポートサービスでは、要望が多かった配信機材レンタルとカメラマンをセットにした映像配信セットや学会で希望の多い浜松らしさを演出した弁当や学会名入りののし付き弁当など、メニューの拡充を図ります。
- ・利用促進を目的としたプロジェクトチームでは、引き続きアンケートの活用や現状分析を通して、変化する利用者ニーズの把握に努め、リピーター獲得につなげます。
- ・屋外広場を活用したイベントや親子を対象とした施設の裏側を探検するバックステージツアーの開催、浜松ゆかりのアーティストと協力した館内装飾などにより、アクトシティの賑わい創出に努めます。

事業名	開催予定日	内容
ウィズコロナにおける施設利用の促進 (4事業)		
通信環境のPR	通年	ホームページ等を活用し、充実した通信環境を広く発信することで、新たな顧客獲得につなげる。また、サポートサービスでは配信機材等のメニューの充実を図り、通信環境の利便性向上を目指す。
利用者ニーズの把握と利用の促進	通年	コロナ禍で大きく変化している利用者のニーズを的確に把握するため、課内に立ち上げたプロジェクトチームにおいて、アンケートの活用や現状分析を行い、利用促進につなげていく。

事業名		開催予定日	内容
	コンベンション誘致	通年	時間や費用面で主催者の負担が大きいハイブリッド開催での負担軽減を図るため、コンベンション専任の担当者を配置。コロナ禍で得た知識と経験を活かし、ハード・ソフト両面からスムーズな大会運営をサポートすることにより、数年先を見据えた誘致へとつなげる。
	サポートサービスの充実	通年	ハイブリッド開催やWEB配信でご要望が多かった配信機材やカメラマンをセットにした「映像配信セット」や学会名入りの「のし付き弁当」などを新たに追加。要望に応じて柔軟に対応し、メニューの拡充を図る。
アクトシティ活性化事業 (3事業)			
	アクトでやらまいか浜松まつり	5/3~5	浜松まつり期間中、サンクンプラザにて吹奏楽やダンス、歌のライブパフォーマンス等を実施。
	アクトシティ大冒険!	8/17	アクトシティ浜松の大ホールやホテルの裏側、制振装置など、普段はなかなか見ることのできない場所を大冒険するバックステージツアー。
	クリスマス装飾	11~12月	浜松ゆかりの若手アーティストに依頼し、市民ロビーやアクトタワーなどにアートを活用した装飾を施すことで、クリスマスの機運を盛り上げる。

(2) クリエイト浜松

① 運営の考え方

クリエート浜松は、市民の芸術活動の発表の場として、大規模なギャラリーやホール、スタジオなど多様な機能を併設する市内で唯一の施設です。また、オープンスペースで演奏ができる「ふれあい広場」は、市民文化団体等の練習や発表の場として利用されており、音楽や美術、ダンスなど、多彩なジャンルの文化活動が日常的に行われています。

令和5年度は、クリエート浜松開館35周年記念事業として、市内で活動する美術分野の若手アーティストによる展覧会を共に創ります。この事業ではマルシェを同時開催し、地域との連携を深める機会とします。

また、年に一度の市民文化の祭典として、浜松市民文化フェスティバル「絵・写・書・茶・花」展を開催し、活動の発表と活動者同士の交流を深める機会とします。

引き続き、浜松国際交流協会や中部協働センター、人権啓発センターなどクリエート浜松内の機関と連携し、多文化共生や生涯学習、人権啓発などの事業をともに推進します。

以上、既存団体への支援とともに、若手活動者との交流や連携を促進することで、将来の市民文化活動につながる事業を展開します。

② 重点的に取り組む事項

- ・ギャラリーの利用団体に高齢化の傾向がみられることから、将来を見据えた新しい挑戦として、若い世代の利用や新規ジャンルの開拓を目的に、若手アーティストによる展示やワークショップなどをクリエート浜松開館35周年記念事業として開催します。
- ・浜松市民文化フェスティバル「絵・写・書・茶・花」展では、新たな試みとして各ジャンルの作品をわかりやすく解説する「アートコミュニケーション」を実施し、作品に対する質疑応答などを通じて、芸術文化団体と市民との相互交流を促進します。
- ・市民文化団体等への支援として、年間を通じ気軽に日ごろの成果を発表できる場として、ふれあい広場を利用した「クリエイティブ・ガラ」を開催するとともに、SNSなどで活動の情報を積極的に発信し、広く周知します。
- ・市民が企画する文化事業を共催し、施設利用の助言や広報への協力により支援する「コラボ・ウィズ」と、参加者自身が興味のある講座を企画し開催する「クリハマ楽校」を通じて、市民の主体的な文化活動を応援します。

事業名	開催予定日	内容
自主事業 (4事業)		
クリハマ楽校	通年	参加者自らが興味関心のある講座を企画開催する事業。参加者同士のコミュニケーションの場を創出。
ふれあい広場活性化事業 Creative Gala (クリエイティブ・ガラ)	通年	地域の文化活動活性化のため、ふれあい広場を無料提供する事業。
クリエート浜松35周年記念 浜松クリエーターズフェス vol.0 ～ぼくらの色々いきもの展～	7/21～23	浜松にゆかりのある若手アーティストによる作品展示、ワークショップ、公開制作などを開催。「クリエート・マルシェ」も同時開催。
浜松市民文化フェスティバル 「絵・写・書・茶・花」展	8/18～20	3階のギャラリーにおいて地元の文化団体が絵画、写真、書道、お茶、生け花など多彩な文化を披露。

事業名		開催予定日	内容
自主事業（共催事業 5事業）			
Collabo with! クリエイト (コラボ・ウィズ)	随時	文化団体等から企画提案された浜松の文化振興に寄与する事業を共催者として支援。	
第26回リフレッシュ理科教室	6/24	静岡大学教授のレクチャーによる理科実験工作。 共催：(公財)応用物理学会	
クリエートの夏まつり	8/20	地域住民や関係機関と連携し、地域及び施設の活性化を目的に実施、文化イベントや物販などを行う。 共催：市中部協働センター、市人権啓発センター、 (公財)浜松国際交流協会	
クリエートの冬まつり	1/20・21	地域住民や関係機関と連携し、地域及び施設の活性化を目的に実施、文化イベントや物販などを行う。 共催：市中部協働センター	
第14回 はままつグローバルフェア	2/11	フェアトレードショップや国際交流ブースを設けたイベント。着物などの日本文化にも触れられる場とする。 共催：はままつ国際理解教育ネット、(公財)浜松国際交流協会	
その他の事業・機能（3事業）			
活動情報の収集・データベース化事業	通年	市民アーティストの活動をデータベース化し、活動者同士の連携を構築。	
文化情報発信事業	通年	当施設利用の同好会文化団体への取材と情報発信を実施。	
インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。	

(3) 浜松市浜北文化センター

① 運営の考え方

浜北文化センターは、市北部の文化振興の拠点施設であるとともに、遠州鉄道により市中心部と直結していることから、市全域を対象とした事業を展開しています。特に令和6年1月からは、これまでの浜北区と北区が統合され浜名区となることから、三ヶ日や引佐、細江などからの利用も視野に入れた事業の展開を考えます。さらに、令和6年度の大規模改修を経て令和7年度にはリニューアルオープンが予定されていることから、オープン後の事業展開を見据えた取り組みを行います。

同館の特長として、近隣に浜北駅があり市中心部からのアクセスが良いこと、大型ショッピングセンターの出店や宅地開発が進み若い世代が増加傾向にあること、舞台が演劇やダンスなどの実演芸術に向いていることなどが挙げられます。そうしたことから、全市から社会人吹奏楽団が集結する「浜松市民バンドフェスティバル」や若手人気落語家を招聘する「浜北寄席」により市内全域からの集客を図るとともに、ファミリー層を対象とした「ゆるやかコンサート」、実演芸術に適したホールを知っていただくための「SPAC 中高生鑑賞事業」などを開催することで、ホールの魅力を発信いたします。

なお、令和6年度からの改修工事の準備に向けて市に協力するほか、改修後の事業展開を想定した誘致活動に取り組みます。

② 重点的に取り組む事項

- ・「ゆるやかコンサート」の開催により、ファミリーで一緒にコンサートを楽しむ機会を提供します。市内を中心に活動する演奏家に出演していただき、演奏活動への支援となることも企図しています。
- ・市民文化団体が日頃の成果を発表する「はまきたまるごと文化フェス」を開催し、各団体間の交流の促進を図ります。また、地域の物産を販売する「マルシェ」を同時開催し、地域の活性化と住民に親しまれる施設を目指します。
- ・若い世代が質の高い演劇に親しむ「SPAC 中高生鑑賞事業」や、演劇やダンスなどの創作における舞台知識を学ぶ「舞台裏方体験講座」により、実演芸術における人材の育成とホール活用方法の発信を行います。
- ・合区により1月から浜名区となることから、旧北区からの施設利用を促進するため、同地区への施設利用やイベントなどの情報発信を強化します。
- ・大規模改修後を見据えて、実演芸術に適した舞台や交通機関の利便性、キャパシティに対する手頃な施設利用料などの強みをアピールし、演劇や芸能公演などの誘致に取り組みます。

事業名	開催予定日	内容
自主事業 (13事業)		
妊婦さんとお母さんのための「ゆるやかコンサート」シリーズ 春、夏、秋、冬(全4回)	5/30 7/27 9月 12月予定	子ども連れの家族を主な対象としたコンサート。浜松市の内外で活躍する演奏家が出演し、子どもと一緒に音楽を楽しむ機会を提供。
「ゆるやかコンサート」特別編	2月頃 予定	いつものゆるやかコンサートシリーズとは趣向を変え、クラシックにこだわらないプログラムにより、乳幼児から大人まで幅広い世代が楽しめるコンサートを開催。
親子のためのワークショップ	9月頃 予定	親とその子どもとの遊びを通じて、若い世代が他人とのコミュニケーション、チームワーク、リーダーシップなどの能力を身につける機会を提供。

事業名	開催予定日	内容
ステージ演奏体験	7月頃 予定	小ホールの舞台上で気軽にピアノや持込み楽器などの演奏体験をしてホールの響きを体感していただき、ホールの利用に親しんでもらう。
舞台裏方体験講座	冬頃 予定	ホールのステージを使う創作活動において必要となる舞台照明や音響等の知識に触れてもらう講座。ホールを教室として当館の舞台スタッフが講義を行う。
はまきたまると文化フェス	1/20・21	なゆた・浜北と合同で開催。当館を拠点に活動する文化団体へ発表の場を提供し、文化の力で地域のつながりの維持を図る。
第13回浜松市民バンドフェスティバル	1/28	市内で活動している市民吹奏楽団が一堂に会する祝祭の場。各楽団の成果が披露され、多彩な演奏を聴くことができる機会を提供。 共催：浜松市民バンド協議会
SPAC 中高生鑑賞事業	2月 月上旬	静岡県舞台芸術センター（SPAC）による演劇公演。中学生、高校生に本物の舞台芸術に触れる機会を提供する。 共催：静岡県舞台芸術センター
第39回浜北寄席	2/18	開館以来続く地域寄席としてお馴染みの催し。今回は若手の落語家を招聘し、より広い世代に対して古典芸能に触れる機会を提供。
公演誘致活動	通年	リニューアルオープン後の事業展開を見据えて、演劇や芸能などの舞台公演の誘致に取り組む。
広報事業	通年	大規模改修工事に関する情報提供や施設の利用促進を目的に、ホームページやSNS、パンフレットなどの各種メディアを通じて情報発信を行う。特に合区となる旧北区への利用促進を図る。
文化団体作品展示事業	通年	地域の文化団体へ展示発表の場を提供することで活動の持続性を高め、併せて北館の共用スペースの活用も図る。
インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。

(4) 浜松市なゆた・浜北

① 運営の考え方

浜松市なゆた・浜北は、ホールや練習室及び駐車場部分の管理運営について、当財団と株式会社なゆた浜北が共同事業体を組み、浜松市浜北文化センター及び浜松市・市民ミュージアム浜北を含む3施設を一括して指定管理を受けています。

令和5年度は、浜松市浜北文化センターとの協働で「はまきたまるごと文化フェス」を実施するほか、映画まつりやお笑いライブ、ジャズフェスティバル、新規事業として親子対象の読み聞かせイベントなどを開催します。また、朝市などを開催することにより、地域の経済活動の活性化、並びに浜北の中心的エリアである浜北駅前の賑わいづくりを行います。

② 重点的に取り組む事項

- ・「はまきたまるごと文化フェス」では、浜松市浜北文化センターと浜松市なゆた・浜北の2施設を会場に、エリア的な広がりを持つ文化イベントとして、両施設の屋外広場でマルシェを開催することで、来場者の往来による街のにぎわい創出を図ります。
- ・お笑いライブやジャズフェスティバル、映画まつりなどミドル世代、シニア世代に向けた事業を開催し、より幅広い年代のニーズに応えます。
- ・浜北駅前にのぎわいを創出する事業として、地域の生産者による地元産の新鮮な野菜や果物の販売などを行う、なゆた朝市を開催します。駅前の活性化とともに、地産地消による地域の生産者や事業者の活動促進を図ります。
- ・浜松市浜北文化センターと連携して、両館での施設利用の相互案内や両館が持つデジタルサイネージやソーシャルメディアなどの広報媒体の相互活用により、両館の施設利用や各事業の集客促進への相乗効果を図ります。

事業名	開催予定日	内容
自主事業 (9事業)		
はまきたまるごと文化フェス	1/20・21	浜北文化センターとの協働により、両施設の利用者に感謝の気持ちを込めて、発表の場を提供するイベント。
親子で作るクラフト講座	5・6・11月	母の日やクリスマスの時期に使える小物を親子で作製する小学生を対象としたクラフト講座。
なゆた・映画まつり	5/13	ファミリーからシニアまで幅広く名画を楽しむイベント。映画館にしばらく行っていない方も気軽に楽しめる映画祭。
ステージ演奏体験	8/26	ホールの舞台上でグランドピアノや持込みの楽器演奏体験ができるイベント
ピアノの生演奏と朗読 (予定)	9/16	著名俳優と音楽家による親子で気軽に楽しめる読み聞かせイベント。
お笑いライブ	11/23	家族揃って楽しめるお笑いイベント。TV等で活躍するタレントが客席を巻き込みお笑いを繰り広げる。皆が笑顔になるライブイベント。
なゆた・ジャズフェスティバル	2/25	ジャズの生演奏で週末を楽しむコンサート。ジャズが盛んな浜松のニーズを満たすイベント。
はまきた駅前 なゆた朝市	月2回程度	浜北駅前で開催する、なゆた恒例の人気企画を継続。地元産の新鮮な野菜の販売、地域出店者による販売。にぎわいを創出する駅前活性化事業。
なゆた・浜北朝市	月1回程度	固定客のいる地域出店者による、安くて新鮮な朝採れ野菜や果物、米の販売。

(5) 浜松市天竜壬生ホール

① 運営の考え方

北遠地区の文化振興の拠点である浜松市天竜壬生ホールは、北部市街地から中山間地域へ入る玄関口という立地を踏まえ、天竜区だけでなく市北部の地域で活動する団体と連携した舞台や展覧会を開催します。加えて、地域の特色ある自然や文化に着目した事業を展開することにより、本地域の文化活動の活性化に取り組みます。

また、当館までの来場が困難な中山間地域の住民に向け、地域内の学校や公共施設を活用した出張コンサートを行い、地域住民が生演奏に接する機会を創出します。

さらに、次の世代の文化の担い手を育成するため、小中高生を対象にした舞台芸術ワークショップを通年で行います。

このような事業や施設の日々の様子を、SNSを通じて広く配信することにより、豊かな自然と天竜材に囲まれ、音響に優れたホールの魅力を積極的にアピールし、本施設の利用促進を図ります。

② 重点的に取り組む事項

- ・育成事業である「MIBU ワークショップ」では、ミュージカルとダンスのレッスンを月2回行い、12月の成果発表公演に臨みます。本年度は森をめぐる人間と自然との共生をテーマとし、子どもたちの表現の幅を広げる指導を行います。
- ・「MIBU New Year Concert」では地域の楽団が一流の演奏家と共演し、「みぶ遠州の和太鼓」や「MIBU 吹奏楽フェスティバル」「みぶ絵手紙展」では、地域の愛好者が集い互いに発表や鑑賞をすることで、文化団体間の交流の促進を図ります。
- ・「天竜区ふれあいコンサート」では、浜松市天竜壬生ホールから20km北に立地する小学校を会場として、一流の演奏家によるクラシックコンサートを実施し、当館までの来場が困難な子どもたちや地域住民の鑑賞の機会とします。
- ・家庭で飼育した稚魚を、二俣川で放流する「育てよう！アマゴの里親募集」や、地元産の茶を嗜む「壬生の花見茶席」により、子どもたちが地域固有の自然や文化を知り、継承していく大切さを学びます。
- ・当館の舞台での「ステージ演奏体験」により、ホールの音響などを実感していただくことで、新たな利用者の開拓に努めます。
- ・「壬生の響き」では、ホールの優れた音響を知っていただくとともに、平日イベントの可能性の追求や地域との一体感の醸成による地域活性化を目的に、開催日を金曜夜の設定とし、地元商工会との連携による特産品即売会「マルシェ」も同時に開催します。

事業名	開催予定日	内容
指定事業（文化振興事業 2事業）		
壬生の響き Vol. 3 琵琶語りの夕べ	6/30	地域に縁のある方を中心としたアーティストにより、平日の夜に1時間程度のボリュームでホールの特性を意識したイベントを実施。第3回目の今回は、藤高りえ子氏による琵琶の弾き語り公演。平家物語のほか遠州地域の歴史を取り上げたものや創作ものを予定。
MIBU New Year Concert 2024	1/27	地域の市民楽団と著名演奏家が共演する市民参加型コンサート。
指定事業（芸術普及事業 7事業）		
MIBU ワークショップ ダンスクラス	通年 (月2回)	専門講師による、小学生から高校生までを対象としたダンス及びミュージカルの通年指導。事業を通じて、芸術文化活動による地域児童の育成促進と地域文化の振興を図る。
MIBU ワークショップ ミュージカルクラス	通年 (月2回)	

事業名		開催予定日	内容
みぶアーティストステージ		6/11	児童から大人まで出演者を公募し、ホールでステージパフォーマンスを披露。
MIBU 吹奏楽フェスティバル		11/5	天竜浜名湖鉄道沿線地域の高校吹奏楽部による合同演奏会。
MIBU ワークショップ 成果発表公演		12/23・24	ワークショップ受講生たちによる、創作ダンスとオリジナルミュージカル作品の披露公演。
みぶ遠州の和太鼓 2024		2/11	静岡県西部の和太鼓団体によるライブコンサート。
みぶ絵手紙展		2/8～18	天竜区内や近隣で活動する地域団体との協働企画による絵手紙展覧会。
自主事業 (7 事業)			
浜松文芸館出張講座		年 1 回 (調整中)	浜松文芸館で実施している企画の中から好評をいただいている講座を出張して実施。
ステージ演奏体験		年 7 回	コンサートピアノを会館側で準備、ステージを一般開放し演奏体験の機会を提供。非公開のため、持ち時間を練習・撮影など自由に活用可能。ホール空き日を利用。
壬生の響き Vol. 4・Vol. 5		9/8 3/15	地域に縁のある方を中心としたアーティストにより、平日の夜に 1 時間程度のボリュームでホールの特性を意識したイベントを実施。 出演予定：坂本彩（ピアノ）、關さや香（声楽ソプラノ）
育てよう！～アマゴの里親募集～		11/26 2 月	アマゴの托卵と稚魚の放流を通して、地域の自然環境や歴史について学ぶ講座。
壬生の花見茶席		3 月	季節を感じる呈茶サービスの実施。
チケット受託販売		通年	当施設利用者の開催公演のチケット受託販売。
魅力発信事業		通年	施設や地域の魅力や情報を Instagram 等の SNS を使って発信。
自主事業 (共催・協力事業 2 事業)			
天竜区ふれあいコンサート		10/29	一流演奏家によるクラシックミニコンサート。天竜区内の学校や公共施設で無料開催し、ホールまで足を運びにくい地域に生演奏を届ける。 共催：天竜区ふれあいコンサート実行委員会
天竜芸術祭芸能発表会		10/29	天竜区内で活動する文化団体が実施する芸術祭の舞台運営を支援。
その他の事業 (1 事業)			
インターンシップ実習		夏期～ 秋期	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。

(6) 浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）

① 運営の考え方

浜松市市民音楽ホール（通称サーラ音楽ホール）は、市民が主体となって、次代を担う音楽文化人材を育成する事業や新たな文化活動へのチャレンジを支援する取り組みを行います。

令和5年度も引き続き、子育て世代を対象にしたコンサートや浜松ジュニアブラス、ユニバーサル事業など、幼児から中高生まで幅広い年齢層の育成事業を行います。また、市民のアイデアを形にするアイデア・チャレンジ事業では、ホールの特長を活かしたアイデアやライブ配信など、新たな取り組みを積極的に支援するとともに、音楽をはじめとするアートや舞台など多様な主体が関わる事業を応援します。

ホールを拠点に人や文化が積極的に交わる土壌を創ることで、市民に愛され利用される施設を目指します。

② 重点的に取り組む事項

- ・浜松ジュニアブラス育成事業では、NPO 法人浜松生涯学習音楽協議会の認定指導員が、市内小学生の有志からなる合同バンドを、年間を通じて指導します。定期練習以外にも、アクトシティ浜松で行われる日本吹奏楽指導者クリニックや吹奏楽トップコンサートなどに参加します。
- ・アイデア・チャレンジ事業は、事業を公募し企画段階から当日の実施までを包括的に支援する伴走型の事業です。応募者の自由な発想を尊重した挑戦できる環境を整えます。さらに、活動者と人材を求める団体とのマッチングやホールの活用方法を模索する機会とします。
- ・ハートフルコンサート、ゆるやかコンサート、大学連携事業など、子育て世代や高齢者、障がいのある人など誰もが参画しやすいコンサートやワークショップを、地域に根差す大学や団体と協働して行います。
- ・浜松市音楽研究発表会に参加する小学校と地域企業の見学をマッチングすることにより、地元の産業を知るための校外学習に協力します。
- ・地域住民や地元企業と連携して、日頃の文化活動の発表や地元産品の物販などを行う秋祭りを開催し、市民に親しまれる施設を目指します。

事業名	開催予定日	内容
指定事業（次世代の音楽文化の担い手となる人材の育成 3事業）		
浜松ジュニアブラス育成事業 （小学生世代）	通年	浜松市内の小学生による合同吹奏楽バンドの育成を NPO 法人浜松生涯学習音楽協議会と協働で実施。
大学連携事業 （大学生世代）	通年	地元の大学生が企画運営する子ども対象のワークショップ。同時に指導者の育成も図る。 共催：常葉大学浜松キャンパス
ゆるやかコンサート ゆるやかワークショップ	年 1～2 回	子育て世代を対象に、入退出可能な乳幼児向けのコンサートやワークショップを開催。
指定事業（市民の音楽文化活動の促進 6事業）		
伴走支援型事業 「アイデア・チャレンジ」	通年	当館を会場とした事業を一般公募し、選定事業について、構想段階から実施までを伴走支援。
ユニバーサル事業 「ハートフルコンサート」	通年	多目的室、ホールを利用し障がいのある人や、子育て世代を主な対象としたコンサートを開催。 共催：認定 NPO 法人魅惑的倶楽部

事業名		開催予定日	内容
	サポーターズクラブ	通年	当館を拠点に活動する文化団体及び個人を人材データベースに登録してバンク化し、市域のアウトリーチ等に活用。
	運営委員会	通年	当館の主催事業及び施設運営について評価、指導の機能をもつ諮問機関を外部に設置。
	情報発信掲示板 コミュニケーションスクエア	通年	市内の文化団体や個人が活動を自由に発信できるよう、館内掲示スペースの活用及びウェブページの整備を行う。
	エントランスロビー活用事業	通年	エントランスロビーに市内芸術団体の作品を展示。
自主事業 (1事業)			
	地域・企業連携事業 (秋祭り)	11月	地域住民や企業と連携し、地域及び施設の活性化を目的に実施、文化活動の発表や地元産品の物販などを行う。
その他の事業 (3事業)			
	インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。
	地域・企業連携事業 (校外学習)	12月	浜松市音楽研究発表会にあわせ参加する小学校と地域企業の校外学習マッチングをはかり、子どもたちの創造的な文化活動を支援。
	ネーミングライツ企業との連携	通年	サーラグループが助成するホール活用助成制度の周知及びサーラグループ特別協力事業を開催。 事業：バンドスピリット等

3 観覧施設を活用した資源の調査、収集、保存、展示による芸術文化の普及発展

(1) 浜松市楽器博物館

① 運営の考え方

令和5年度は、徳川家康にスポットがあたることから、特別展では天下泰平の江戸時代に花開いた楽器「三味線」をとりあげ、家康が築いた平和な世だからこそ展開した音楽や楽器、その時代に生きた人々の生活文化などを紹介します。また、特別展と連動してレクチャーコンサートや音楽講座を展開します。これにより実際の音色、楽器や音楽の歴史・変遷への知識が深まり、展示の楽しみ方が広がるものと期待しています。

また、市民に演奏の機会を提供しながら世界の楽器を紹介する「音楽の広場」をはじめとした展示フロアの企画では、楽器や世界の音楽文化の魅力をライブで感じていただきます。

新型コロナ対策の緩和措置などにより、海外から多くの観光客が訪れることを想定し、スマートフォンを利用した音声ガイドや館内表示、ホームページなどの多言語化をより一層進めます。

令和5年度も国内唯一の公立楽器博物館として、調査研究の成果を、展示や国際会議への参加などを通じて国内外に広く発信するとともに、教育機関との連携事業により、音楽の都“浜松”の博物館として次代の音楽文化の振興に努力します。

② 重点的に取り組む事項

- ・特別展「どうする江戸の音楽（仮称）」では、「三味線」だけでなく常設展「日本コーナー」のリニューアルにより、同じく江戸時代に花開いた琵琶・箏・一絃琴・胡弓の歴史や文化なども併せて紹介します。また、それらの楽器が登場するイベントや講座、ワークショップを開催します。
- ・企画展「日本に鳴り響いたラッパ（仮称）」では、西洋由来の楽器であるラッパが、いつ日本に入りどのような広がりを見せていったのか、黒船来航などの史実とともに紹介し、関連イベントとして金管楽器奏者らによる演奏会も開催します。
- ・夕方に開催するイブニングサロンコンサートでは、ウクライナ出身のカテリーナさんが祖国の楽器「バンドゥーラ」の音色や音楽、文化を紹介しながら、平和への想いを届けます。
- ・レクチャーコンサートは、三方ヶ原合戦の戦死者を供養するために始まったとされる「遠州大念仏」、中東の楽器が登場する「Light in Babylon」、前回のショパンピリオド楽器コンクールで第2位を受賞した川口成彦による「フォルテピアノリサイタル」など、幅広いジャンルで開催します。
- ・現在のイヤホンガイドからスマートフォンを利用した新しい音声ガイドに入れ替え、英語による解説も実装します。今後、中国語や韓国語などの多言語化がスムーズに行えるようなシステムで構築します。
- ・市内小学校への移動楽器博物館により、世界の楽器と音楽を通してその国の暮らしや文化への子どもたちの理解を深めるとともに、大学との連携により、学生によるワークショップや地域の民俗芸能の調査などを行います。

事業名	開催予定日	内容
特別展・企画展・常設展 (5事業)		
企画展 「小松亮太監修 蛇腹楽器展 おくり魅かれる風・音色 バンドネオンの謎と真実」	4/1～5/9 (1/14～)	蛇腹操作による気流でフリー・リードを鳴らす様々な蛇腹楽器を紹介。 監修：小松亮太(バンドネオン奏者)
特別展 「どうする江戸の音楽」 (仮称)	7/15～12/12	天下泰平の江戸時代に花開いた楽器「三味線」を軸に、江戸の音楽や楽器、付随する文化等を紹介。

事業名		開催予定日	内容
企画展 「日本に鳴り響いたラッパ」(仮称)	1/13~3/31 (~5/7)	西洋由来の楽器であるラッパが、いつ日本に入りどのような広がりを見せていったのか、黒船来航などの史実とともに紹介。	
ミニテーマ展示	通年	1つの展示ケースを利用し、テーマに沿って世界の楽器を紹介する職員によるミニ展示。	
常設展の運営	通年	所蔵楽器の状態を適切に管理し、楽器の特性や種類に応じた展示を行っている常設展示の運営。	
ガイドツアー・ギャラリートーク・ミュージアムサロン・シリーズ音楽の広場 (4事業)			
展示室ガイドツアー	通年	展示室の主な楽器について、テーマに沿って職員がわかりやすく解説するガイドツアー。	
ギャラリートーク	通年	一つの楽器に焦点をあて、実演などを交えて行う職員による解説。	
ミュージアムサロン	通年	ゲストや職員による展示室でのミニレクチャーとミニコンサート。	
シリーズ音楽の広場	通年	地域の音楽家や職員等による展示室でのミニコンサート。	
演奏会(レクチャーコンサート) (5事業)			
川口成彦フォルテピアノリサイタル	6/22	ショパンが愛したピアノ「プレイエル」を用いたオールショパンプログラムによる演奏と解説。出演：川口成彦	
Light in Babylon	7/19	オリエンタルでエキゾチックな東地中海エリアの音楽を紹介。出演：ミハル・カマル ほか	
遠州大念仏	8/11	三方ヶ原の戦いの死者を供養するために始まったとされる郷土芸能の実演と解説。出演：遠州大念仏保存会	
当道が伝えた江戸の芸術	9月	江戸時代に当道座が育んだ、平家琵琶、地歌三味線、箏や胡弓の音楽を紹介。出演：菊央雄司 ほか	
金管楽器奏者らによるコンサート	未定	企画展「日本に鳴り響いたラッパ」(仮称)の関連イベント。	
演奏会(イブニングサロンコンサート) (1事業)			
ウクライナの楽器「バンドウーラ」	9/16	祖国の楽器「バンドウーラ」の音色や音楽、文化を紹介しながら、平和への想いを届ける。演奏：カテリーナ	
講座・ワークショップ (6事業)			
ワークショップ 「うぐいす笛を作ろう」	8月	歌舞伎や演劇等に使われている、ウグイスの鳴き声を奏でる竹製の笛を製作。講師：福原芳華	
音楽講座 「文学や洒落本に見る江戸文化」	9月	洒落本や随筆をはじめとする江戸文学の記述を基に、江戸遊郭における音楽文化を解説。講師：青木慧	
ワークショップ 「三味線体験」	未定	日本の伝統楽器「三味線」を演奏体験できるワークショップ。講師：松永鉄久	
ワークショップ 「青色LEDを使った電子楽器を作ろう」	1月	青色LEDとセンサーとの距離によって音が変わる電子楽器を製作。講師：山脇一休、浜松城北工業高校生徒	
ワークショップ 「ラッパづくり」	2月	ホース、ジョウゴ、マウスピースを連結させてラッパを製作。	

事業名		開催予定日	内容
ワークショップ 「とり笛を作ろう！」		通年	紙とストローを使って、小鳥の鳴き声を奏でる笛を製作。 講師：当館ボランティア、職員
市内小学校移動博物館 (6事業)			
北浜東小学校	5/15～17	市内小学校への移動博物館。お話と体験を織り交ぜて、 クラスごとに世界の楽器文化を紹介。保護者や地域住民 への開放も含む。	
佐藤小学校	5/29～6/2		
和地小学校	6/12～16		
上阿多古小学校	9/12・13		
伊目小学校	10/10・11		
花川小学校	2/27・28		
楽器整理・調査・情報発信 (8事業)			
常設展整備	通年	展示室、体験ルームの展示替え。	
CD・図録等の販売	通年	所蔵楽器音源のCD、所蔵楽器の図録、オリジナルグッズ の販売。	
所蔵資料の調査・整理・修復	通年	所蔵資料の調査、整理、修理、修復。	
広報誌「楽器博物館だより」発行	通年	年2回程度。市内小中学校・公共施設等に配布。	
公式ホームページサイトの管理運営	通年	一般情報とアーカイブス、最新情報ほかを発信。	
他施設での出張展示	通年	新東名サービスエリア展示協力（ネオパーサ浜松 SA 下 り）。	
バーチャル博物館の展開	通年	オンラインで館内を見学できるバーチャル博物館を展 開。教育の場での活用が見込まれる。障がいのある人や 来館がなかなか難しい方も、スマホやパソコンから当館 を楽しむことが可能。	
国際委員会への参加と発表	8/30～9/1	CIMCIM 年次大会（アムステルダム）への参加と発表。	
他博物館・教育研究機関等との連携 (2事業)			
静岡文化芸術大学との連携事業	通年	大学生による展示室ギャラリートークやワークショップ 等、静岡文化芸術大学と連携して実施。	
音楽文化・芸能調査	通年	市内又は日本の伝承民俗芸能の調査。浜松市文化財課、 静岡大学情報学部と連携して実施。	
研修受け入れ (5事業)			
学芸員実習	9月	学芸員資格認定の必須科目である実習。全国の大学生の 応募者から選考。	
インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップ の受け入れ。	
教職員研修	通年	浜松市の教職員の研修受け入れ。	
中学生・高校生職場体験学習	通年	浜松市の中学生・高校生の職場体験受け入れ。	
中学校との共同授業	下半期	世界の楽器を通しての国際理解教育の提供。	

(2) 浜松文芸館

① 運営の考え方

浜松文芸館は浜松にゆかりのある文芸人の資料を収集・収蔵し、広く市民の皆様にご覧いただくために展示活動を行っています。また、市民の文化向上と文芸活動の拠点として、市民文芸の発行と各種講座や講演会を実施しています。

令和5年度の展示は、浜松文芸十人の先駆者である原田濱人や藤枝静男について本館所蔵の資料や近年収集した貴重な資料を中心に紹介します。また、企画展として「文と絵で知る 家康に学ぶ 浜松の今昔ものがたり」展を行います。各種講座や講演会終了後にはアンケートを実施し、市民のニーズに応え特色ある講座や講演活動に取り組みます。

7年目となる静岡大学地域創造学環の学生との連携では、文芸を若い人たちの感覚でとらえ、子どもから大人まで各世代にわたって親しみやすい施設を目指します。

② 重点的に取り組む事項

- ・3月からの特別収蔵展は、「原田濱人とその思いを受け継ぐ浜松の俳人たち」展を開催します。俳句結社「みづうみ」の協力を得て、当館所蔵品を中心に「物心一如、浜松の至宝」といわれる俳人「原田濱人」を取り上げます。7月からは「没後30年 藤枝静男が遺したもの」展を企画し、浜松の作家藤枝静男文学の魅力を紹介します。
- ・企画展は、11月に「文と絵で知る 家康に学ぶ浜松の今昔ものがたり」展を実施します。徳川家康が青年期を過ごした浜松を中心とした歴史や文化に触れる機会とします。
- ・講座事業では変体仮名をよむ江戸の絵本講座を引き続き実施し、夏休みの子どもの向け講座は静岡大学地域創造学環の学生の協力を得て、楽しいお話づくり講座を行います。また、アンケートで希望が多かった篆刻入門講座の発展講座として篆刻初級講座と石川啄木鑑賞講座を新設するとともに、和泉式部日記講座を実施します。
- ・当館の活動を広く知ってもらうアウトリーチ企画として、パネルや一部展示品を市内図書館や協働センター、小中学校、高校等へ貸し出す移動浜松文芸館を実施します。
- ・クリエイト浜松との連携事業としてフォト俳句展の実施や、静岡大学地域創造学環の学生のアイデアを取り入れた事業として、ガチャ機から出たお題で俳句を作るガチャ俳句の充実を図るなど、俳句の創作活動を通して若い世代が文芸に親しむ機会をつくります。
- ・浜松市民文芸第69集の発行では、応募者数の増加を図るため高校を中心とした広報活動を充実させ、特に若い年齢層の投稿を促し、老若男女に親しまれる地域の文芸誌とします。

事業名	開催予定日	内容
展示事業 (3事業)		
特別収蔵展 「原田濱人とその思いを受け継ぐ 浜松の俳人たち」	4/1~6/18 (3/1~)	静岡県長上郡原島村(現在の浜松市東区原島町)出身の俳人・原田濱人の功績やその思いを受け継いだ俳人たちの活動を紹介します。
特別収蔵展 「没後30年 藤枝静男が遺したもの」	7/1~10/15	浜松をこよなく愛し、医師であり、小説家であった藤枝静男の節目の年に、藤枝文学の魅力を改めて紹介します。
企画展 「文と絵で知る 家康に学ぶ 浜松の今昔ものがたり」	11/1~2/12	大須賀義明氏の描いた絵を中心に、徳川家康の活動と浜松の関わりなどを紹介します。
講座事業 (13事業)		
『源氏物語』入門講座	全6回	『源氏物語』のあらすじをまとめた『源氏物語忍草』の濬標から少女までをよむ。講師：松平和久

事業名		開催予定日	内容
江戸の絵本講座	全6回	変体仮名で書かれた江戸の絵本(恋相撲『川隔小瀬世話』)をよむ。 講師:勝田敏勝	
川柳入門講座	全5回	川柳の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。 (初心者向け) 講師:今田久帆	
短歌入門講座	全5回	短歌の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。 (初心者向け) 講師:村松建彦	
俳句入門講座Ⅰ・Ⅱ	各5回	俳句の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。 (初心者向け) Ⅰ:5~6月 講師:笹瀬節子 Ⅱ:9月 講師:村松二本	
『平家物語』講座	全6回	『平家物語』の読解を通して当時の人々の死生観に迫る。 巻八~九をよむ。 講師:大石嘉美	
『おくのほそ道』講座	全6回	芭蕉と旅で出会った人物との関わりに着目し、「出会いと別れの物語」としてよむ。 講師:勝田敏勝	
朗読入門講座	全6回	短詩や随筆を読みながら、声に出すことと表現することの楽しさを味わう。 講師:堤腰和余	
朗読書講座	全6回	1冊の本を精読し、その世界を朗読で表現。 講師:堤腰和余	
篆刻初級講座	全5回	文字を学習し、好きな言葉(四字熟語等)の印を作成。 講師:下石哲幸	
石川啄木鑑賞講座	全5回	テキストとなる詩集の製本及び鑑賞。 講師:折金紀男	
『万葉集』講座	全6回	柿本人麻呂や大伴家持、坂上郎女の歌を中心によむ。 講師:松平和久	
『和泉式部日記』講座	全6回	雑歌下、長歌、俳諧歌、東歌などをよむ。 講師:松平和久	
イベント事業 (1事業)			
朗読会「山本周五郎『日本婦道記』より」	10/22	朗読を通して、山本周五郎作品を味わう。 講師:堤腰和余	
講演会事業 (3事業)			
「プーチンのウクライナ侵攻」	5/13	歴史学者の視点からプーチンのウクライナ侵攻を掘り下げる。 講師:金原増吉	
「藤枝静男邸を訪ねた作家たち」	8/6	藤枝静男と深く親交のあった作家たちを紹介。 講師:和久田雅之	
「芭蕉に学ぶ俳句の作り方」(仮称)	11/11	芭蕉の俳句作りに迫る。 講師:高柳克弘	
子ども向け事業 (3事業)			
夏休み絵本づくり講座	7/22	小学4年生から6年生対象。自分で作ったお話でおもしろ絵本を作成。 講師:井口恭子	
楽しいお話づくり講座	7/29	小学1年生から3年生対象。自分の力で楽しいお話を作ることに挑戦。 講師:井口恭子	

事業名	開催予定日	内容
夏休み読書感想文講座	7/22・29	小学4年生から6年生対象。読書感想文を実際に書きながら、自分の感動を相手に伝える書き方を学ぶ。 講師：林谷子
浜松市民文芸事業 (1事業)		
第69集の作品募集・選考・編集・発行	9～3月	69年の歴史をもつ市民の文芸作品発表の場として、小説、評論、詩、短歌など全9部門で文芸作品を市民公募・審査選考。優秀作品を浜松市民文芸として編集・発行。
調査研究・保存・整理 (1事業)		
資料の収集・研究・整理	通年	資料収集対象者を中心とした資料の収集・研究・整理分類及び寄贈品の整理等。
教育機関との連携 (4事業)		
入館者や学習見学者への案内・説明	通年	入館者への展示室案内や、市内小学校等の施設見学の受け入れ。
職場体験学習・フィールドワーク受入	通年	フィールドワーク(学外実習)希望者や、市内中高校生の体験学習の受け入れと出前講座の実施。
特別フィールドワーク 静岡大学地域創造学環との連携事業	通年	静岡大学が実施する地域創造学環フィールドワークとの連携事業。学生とともに文芸館の運営課題を研究し、広報展開や事業を開催。
インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。
クリエイトとのコラボ事業 (2事業)		
フォト俳句展	8/20	クリエイト浜松の夏まつりの一環として、中学生や高校生が民間団体による写真展の写真を見て作った俳句を展示。
文芸館インフォメーションコーナーの開設	通年	クリエイト浜松1階に当館を紹介するコーナーとガチャ機を設置し、広く周知。
その他事業 (6事業)		
文芸館だより「いざない」発行	年4回	当館の展示や各講座、取組の様子、情報を順次紹介。
浜松市文化振興財団自主出版 『風紋のアンソロジーⅠ、Ⅱ、Ⅲ』販売	通年	浜松ゆかりの作家らのエッセイや選句集などを収録した文庫本の販売。(500円/冊)
『裾野の「虹」が結んだ交誼 曾宮一念、藤枝静男宛書簡』販売	通年	曾宮一念と藤枝静男の生い立ちから出会いまでと二人の書簡を時系列で紹介した本の販売。 (2,000円/冊)
出版物・地域伝統品の委託販売	通年	講座講師著書や、やらまいかブランド「遠州綿紬」使用品の委託販売。
移動浜松文芸館	通年	当館での展示終了後、市内図書館や学校へ展示資料を貸し出し、展示・観覧してもらうアウトリーチ事業。
「BUNBUN はままつ」発行	年1回	浜松百撰との協賛事業。本館が募集した作品を浜松百撰誌に掲載。

(3) 浜松市・市民ミュージアム浜北

① 運営の考え方

浜松市・市民ミュージアム浜北は、浜松市博物館分館として浜北の歴史的資料を展示する資料館です。

本州最古の人骨化石として知られる「浜北人骨」や静岡県指定文化財「赤門上古墳出土遺物」、埴輪「見返りの鹿」などを展示するとともに、地域の歴史や文化資源を紹介する講座の開催や子ども向け体験コーナーの運営などの教育普及活動を展開します。

子どもたちが地域の歴史や文化についての知識を深めることにより、自分たちの住む地域に愛着を持ち、将来の地域貢献や文化の継承につながっていくことを企図しています。

広報面においては、ホームページのほかSNSなどのソーシャルメディアを活用するとともに、浜松市なゆた・浜北や浜松市博物館本館などとも連携し、展覧会や事業の情報を積極的に発信します。

② 重点的に実施する事項

- ・子ども対象の体験プログラムとして、まが玉作りのほか、夏休みに実施する機織りや浜北の風車作り、藍のたたき染めなどを行います。ミュージアムでの体験を通じて、子どもたちが地域の歴史に触れる機会を創出します。
- ・展示資料を題材にした塗り絵をミュージアムに展示する「展示物ぬりえコーナー」を新規に開設し、子どもたちが資料を深く観察することで、地域の歴史や文化に興味を持ち、家族間での話題による家庭内での学びを促します。
- ・展示に関連するテーマを題材に「ミュージアム講座」を開催し、楽しく学習しながら地域の歴史や文化を、より深く理解する機会を創出します。

事業名	開催予定日	内容
自主事業 (9事業)		
ワークショップ 「まが玉作り」	5/3～5	5月の連休に、子どもを主な対象として実施するまが玉作り体験のワークショップ。
夏の特別プログラム	8/1～28 (20～30回)	児童や親子向けの体験ワークショップ。展示資料と関連するおもちゃや道具の製作体験や、クイズラリーで展示を楽しく学習する機会を提供。
①機織り機体験		
②浜北の風車作り体験・編み方教室		
③藍のたたき染め体験		
④昔の遊び体験		
⑤弓矢体験		
⑥クイズラリー		
ミュージアム講座	年2回程度	ミュージアムの所蔵品にまつわる歴史文化講座やワークショップを開催。
展示物ぬりえコーナー	12月頃	ミュージアムの展示資料を題材にしたぬりえのコーナー。作品をミュージアム内に展示。
スタンプラリー	通年	1階「くらしの資料館」と2階「歴史資料館」の主要展示品の場所にスタンプスポットを設置し、館内を限なく巡回することで学習を深めてもらう機会とする。

事業名	開催予定日	内容
機織り体験コーナーの運営	通年	機織り機を常時可動な状態で展示し、体験希望者にはスタッフが織り方を指導。
教育プログラムの受け入れ	通年	中高生職場体験学習、校外学習等の教育機関の課外プログラムの受け入れ。
インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。
浜北文化協会との連携	通年	機織りや藍のたたき染め等の体験講座を連携して行う。

(4) 浜松市秋野不矩美術館

① 運営の考え方

浜松市秋野不矩美術館は、文化勲章を受章された日本画家・秋野不矩の功績及び画業について一層の顕彰を図るとともに、その文化的価値を後世に広く伝えるため、本市の貴重な財産である秋野不矩作品並びに関連資料の展示・保存・調査研究と、建築家・藤森照信氏の建造物の適正な維持管理に努めます。

展覧会事業では、作者が作品に込めた真のメッセージを、線・形・色・構図・光等の造形要素から読み解くことに重点をおき、《作品を読む・作品からの声を聴く》をコンセプトに特別展3回、所蔵品展5回を開催します。

また、保・幼・小・中・高、特別支援学校などへの教育普及や校外学習、就業探究活動及び教員の資質向上研修等の教育支援にも取り組みます。

運営においては、外部アドバイザーや静岡文化芸術大学、静岡大学等の地域研究機関、及び浜松市美術館や一般社団法人秋野不矩の会等の専門機関と連携して展示や調査研究を進めるとともに、学芸員やスタッフの資質向上に向けた館内研修を充実させることで、適正な美術館運営に取り組みます。

② 重点的に取り組む事項

- ・所蔵品展では、《見の目弱く、観の目強く(心の目で観る)》というテーマで、地・水・風・火・空の五つの視点から作品を読み解き秋野不矩の画業を顕彰していきます。
- ・特別展では、秋野不矩の思想や表現、芸術哲学の方向性を一にする作家らを取り上げとともに、キャプションを工夫し、秋野不矩の表現意図の一層の理解を図り造形的な魅力を明確に示します。
- ・秋野不矩作品を所蔵する美術館や同規模美術館等との連携を積極的に行い、展覧会の内容の質の向上と美術館同士のネットワークの構築を図ります。
- ・他美術館と連携した展示や調査研究により展示可能な資料を増すことで、作品や資料の展示頻度を軽減し、それらの劣化防止に取り組みます。
- ・若年層や家族層を取り込むための夏休みワークショップや、地域とタイアップしたイベントを企画します。また、「ミュージアムコンサート」など、当財団の強みでもある音楽イベントを館内で開催し、新しい来館者層の拡大を図ります。
- ・広報活動については、全国の美術館情報を掲載する雑誌や配信するサイトに、積極的に情報を提供します。また、Twitter や Instagram などにより、広く美術展の最新情報や地域の文化・観光情報を配信し、全国からの誘客を図ります。

事業名	開催予定日	内容
展示事業 (8事業)		
所蔵品展 (5事業)	※展覧会名称・期間・出展作品は変更する場合があります。	
所蔵品展 《見の目弱く、観の目強く》 「地」の声を聴く いのちの輝き～ざらざらと～	4/1～16 (3/25～)	インドの風土で逞しく生きる人間、動植物などの息遣いが感じられる作品を展示。本展では、大地のざらざらした感触が感じられる作品をはじめ、様々なマチエールの作品を紹介。
所蔵品展 《見の目弱く、観の目強く》 「水」の声を聴く ～いのちの源～	4/22～5/28	いのちの源である水、大地を肥やす恵みの雨、信仰や祈りを育む大河など豊かな生命力を育む自然に焦点を当てた作品群を展示。また、造形的な視点を解説しながら、作品と対話することの面白さを紹介。

事業名		開催予定日	内容
	所蔵品展 《見の目弱く、観の目強く》 「風」の声を聴く ～古からのいのち～	8/5～9/3	廃墟と化してもなお残るそこで暮らしていた人たちの思いや願い。失われた文化や寂れ廃れていく風景から、秋野不矩が作品に込めたメッセージを様々な視点で謎解き風に紹介。
	所蔵品展 《見の目弱く、観の目強く》 「火」の声を聴く ～いのちの煌めき～	11/14～12/24	過酷な環境の中でも懸命に生きる人・動植物。厳しい環境の中で順応して生き抜いてきた姿を捉えた作品を展示。作品を通して秋野不矩自身の生き方に焦点をあて紹介。
	所蔵品展 《見の目弱く、観の目強く》 「空」の声を聴く ～いのち・創造の原点～	1/4～31	新しい日本画とは何を指したものだったのか。世界に通用するための新たな日本画表現の確立に向け、試行錯誤していた時代の作品を紹介。
特別展 (3事業)			
	特別展 「秋野不矩・金子富之が描く アジアの神々」	6/17～7/30 開会式6/16	秋野不矩のインドの神々をテーマとした作品と、現代日本画家・金子富之のヒンズー教を源流とする神々の作品を一堂に展覧。 共催：中日新聞東海本社
	特別展 「加山又造と継承者たち －新たな地平を求めて－」	9/16～11/5 開会式9/15	2015年に大好評を博した加山又造展を再び企画。本展では、秋野不矩・加山又造に加え、加山又造のDNAを引き継いだ後継作家らの作品を紹介。 共催：中日新聞東海本社
	特別展 「上村松篁が描く万葉の世界 『額田女王』挿絵原画」展	2/10～3/24 開会式2/9	松篁が手掛けた、井上靖著「額田女王」のサンデー毎日連載時の挿絵原画や扉絵等の他、本画も展示し、2人に共通する画業やそれぞれの作品を紹介。 共催：静岡新聞社・静岡放送
展覧会関連事業・教育普及事業 (6事業)			
	館内ギャラリートーク、ガイドツアー	通年	秋野不矩の人物や作品、本館の藤森建築をより理解いただくための対話型鑑賞。
	講演会事業	調整中	秋野不矩の人物像や作品、時代の影響などを紹介する講演会や特別展出品作家や関係性による講演会を開催。
	教育普及講演会	通年	秋野不矩の画業の顕彰とともに、美術教育や幼児期の表現についての理解や支援に関する講演会を開催。
	夏休み子どもワークショップ(仮称)	調整中	長期休暇期間中に児童や親子向けの表現に親しむワークショップを開催。
	教育プログラムの受け入れ	通年	小中高生対象の職場体験学習、校外学習、教員の資質向上研修などの教育プログラムの受け入れ。
	インターンシップ実習	夏期～秋期	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。

事業名	開催予定日	内容
地域連携・広報・その他事業 (6事業)		
ミュージアムコンサート	不定期	市内演奏家を起用した館内ミニコンサート。作品を鑑賞しながら音楽を楽しむ。音楽ファンなど新規層の来館を促す。
まちなかコンサート @秋野不矩美術館	不定期	芝生広場など館外を会場に、吹奏楽やモダンダンスなど様々なジャンル・年齢層が出演する野外イベント。
浜松市美術館「市展」への協力	年1回	浜松市美術館「市展」の作品受付・返却業務。 受付会場：天竜壬生ホール（予定）
市民ギャラリーの貸出	通年	本館企画展示室を市民ギャラリーとして貸し出し、市民の創作活動の発表の場として活用いただく。 (特別展開催期間を除いて実施)
公式ホームページサイトの管理運営及びSNSによる情報発信	通年	公式ホームページサイトの管理運営及びTwitterやInstagram等を活用した情報の発信。
売店事業	通年	図録、ハガキ、グッズ等の販売及び在庫管理。
調査研究・保存・整理 (1事業)		
作品および資料の収集・研究・整理	通年	秋野不矩に関連する作品や資料の研究・整理及び浜松市が主管する資料収集への協力。

令和4年度 収支予算

【予算の概要】

1. 基本方針

令和5年度の収支予算は、経常費用2,547,815千円とし、前年度比221,238千円増となります。

これは、社会経済活動の正常化が進みつつある中、施設の稼働がコロナ禍以前の数値まで回復傾向にあることから、施設利用料金収益の増を見込みながらも、電気料金をはじめとする物価高騰の多大な影響額を適切な施設管理運営を図るための経費として反映させた結果となります。

2. 収支の状況

(1) 当期経常増減額

令和5年度の当期経常増減額は△191,718千円となることから、大型公演事業用として積み立てた特定費用準備資金や広域文化基金に加え、特定費用準備資金の今後の積立予定資金を充当することによる未曾有の対応となります。費用増大の主な原因である電気料金などの物価高騰への対処として、各施設での節電や管理経費の抑制を積極的に進めるとともに、浜松市との施設管理契約についても調整を依頼します。

(2) 指定管理施設の状況

令和5年度は前年度に引き続き指定管理施設は10施設となります。施設利用料金収益はコロナ禍以前の稼働率に回復する施設も出てきていることから、前年度比41,112千円増の671,153千円としました。

ただし、主に電気料金の高騰による管理経費の増が利用料金収益の増を大幅に上回るため、各施設は赤字を見込んでいます。

3. 資金及び基金の活用

(1) 特定費用準備資金の取崩等

令和5年度は、大型公演事業のための10,000千円の積み立てについては、パレルモ・マッシモ劇場によるオペラ「ラ・ボエーム」や、世界的な名演奏家たちによるコンサートシリーズ「アクト・プレミアム・シリーズ」等の事業に充当します。

さらに、浜松文化団体活動支援事業用の資金については、コロナ禍から活動を再開しつつある市民文化団体への支援として交付する助成金の資金として2,214千円を充当します。

(2) 基金の活用

事業基金6,095千円を取り崩し、野村萬斎監修「アクトシティ能・狂言」、第69回浜松市芸術祭演劇・人形劇部門の事業費用に充当します。また、広域文化基金3,788千円を取り崩し、クリエート浜松の35周年事業や浜松市浜北文化センター、浜松市天竜壬生ホールにおける事業等に充当します。

この結果、令和5年度末の基金残高は、事業基金177,049千円、広域文化基金4,331千円を予定します。

収支予算書(損益ベース)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	5,070	5,210	△ 140
基本財産運用益計	5,070	5,210	△ 140
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,551	3,288	△ 1,737
特定資産運用益計	1,551	3,288	△ 1,737
③ 事業収益			
入場料収益	69,822	87,173	△ 17,351
チケット手数料収益	2,350	2,400	△ 50
イベント関連収益	14,801	14,336	465
協賛金・共催事業収益	7,328	10,980	△ 3,652
受取会費	10,000	9,900	100
広告料収益	1,480	1,480	0
使用料収益	7,220	6,565	655
手数料収益	9,398	8,883	515
図書販売収益	160	116	44
売上収益	2,271	2,231	40
施設利用料金収益	671,153	630,041	41,112
観覧料収益	39,350	32,950	6,400
事業収益計	835,333	807,055	28,278
④ 受取指定管理料等			
受取指定管理料	1,316,173	1,314,368	1,805
受取消費税交付金	30	30	0
受取指定管理料等計	1,316,203	1,314,398	1,805
⑤ 受取受託金			
受取事業市受託金	106,785	107,426	△ 641
受取受託金計	106,785	107,426	△ 641
⑥ 受取補助金等			
受取市補助金	425	60	365
受取補助金等計	425	60	365
⑦ 受取負担金			
受取事業市負担金	82,525	54,965	27,560
受取負担金計	82,525	54,965	27,560
⑧ 受取寄付金			
受取寄付金	100	100	0
受取仲道子供音楽事業資産振替額	1,108	1,108	0
受取事業基金振替額	6,095	2,122	3,973
受取寄付金計	7,303	3,330	3,973

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
⑨ 雑収益			
受取利息	6	6	0
雑収益	896	873	23
雑収益計	902	879	23
經常収益計	2,356,097	2,296,611	59,486
(2) 經常費用			
① 事業費			
役員報酬	3,703	935	2,768
給料手当	374,495	350,967	23,528
臨時雇賃金	46,149	43,343	2,806
退職給付費用	23,075	18,297	4,778
福利厚生費	63,239	60,376	2,863
交際費	419	118	301
会議費	261	120	141
懇談会費	3,315	2,433	882
旅費交通費	18,186	16,390	1,796
通信運搬費	11,856	11,034	822
減価償却費	11,829	12,792	△ 963
消耗什器備品費	3,032	3,226	△ 194
消耗品費	26,419	27,870	△ 1,451
修繕費	18,342	18,231	111
印刷製本費	29,141	31,898	△ 2,757
燃料費	291	337	△ 46
光熱水料費	106,109	55,138	50,971
使用料賃借料	34,574	35,349	△ 775
保険料	4,070	4,268	△ 198
諸謝金	43,565	40,332	3,233
租税公課	44,591	53,860	△ 9,269
支払負担金	827,133	715,754	111,379
支払助成金	5,087	5,286	△ 199
委託費	733,824	713,037	20,787
手数料	12,921	12,423	498
広告料	16,591	15,752	839
支払利息	393	220	173
事業費計	2,462,610	2,249,786	212,824
② 管理費			
役員報酬	3,350	623	2,727
給料手当	50,663	49,475	1,188
退職給付費用	6,485	3,897	2,588
福利厚生費	8,451	8,558	△ 107
交際費	80	80	0
旅費交通費	250	300	△ 50
通信運搬費	260	260	0
減価償却費	903	903	0

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
消耗什器備品費	55	156	△ 101
消耗品費	173	163	10
印刷製本費	90	60	30
使用料賃借料	200	500	△ 300
保険料	728	638	90
諸謝金	70	70	0
租税公課	924	817	107
支払負担金	450	490	△ 40
委託費	10,725	9,470	1,255
手数料	1,330	300	1,030
支払利息	18	31	△ 13
管理費計	85,205	76,791	8,414
経常費用計	2,547,815	2,326,577	221,238
当期経常増減額	△ 191,718	△ 29,966	△ 161,752
当期一般正味財産増減額	△ 191,718	△ 29,966	△ 161,752
一般正味財産期首残額	3,141,136	2,984,749	156,387
一般正味財産期末残額	2,949,418	2,954,783	△ 5,365
II 指定正味財産増減の部			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	3	3	0
② 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 7,206	△ 3,233	△ 3,973
当期指定正味財産増減額	△ 7,203	△ 3,230	△ 3,973
指定正味財産期首残高	192,689	199,886	△ 7,197
指定正味財産期末残高	185,486	196,656	△ 11,170
III 正味財産期末残高	3,134,904	3,151,439	△ 16,535

(注) 収支予算書は、「公益法人会計基準の運用指針」(平成 20 年 4 月 11 日 内閣府公益認定等委員会)に示された様式に準じて作成している。

収支予算書(損益ベース)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	2,535	0	2,535	0	5,070
基本財産運用益計	2,535	0	2,535	0	5,070
② 特定資産運用益					
特定資産受取利息	10	0	1,541	0	1,551
特定資産運用益計	10	0	1,541	0	1,551
③ 事業収益					
入場料収益	69,822	0	0	0	69,822
チケット手数料収益	2,350	0	0	0	2,350
イベント関連収益	14,801	0	0	0	14,801
協賛金・共催事業収益	7,328	0	0	0	7,328
受取会費	10,000	0	0	0	10,000
広告料収益	1,477	3	0	0	1,480
使用料収益	7,117	103	0	0	7,220
手数料収益	9,317	81	0	0	9,398
図書販売収益	160	0	0	0	160
売上収益	2,271	0	0	0	2,271
施設利用料金収益	659,953	12,190	0	990	671,153
観覧料収益	39,350	0	0	0	39,350
事業収益計	823,946	12,377	0	990	835,333
④ 受取指定管理料等					
受取指定管理料	1,223,579	15,087	77,507	0	1,316,173
受取消費税交付金	30	0	0	0	30
受取指定管理料等計	1,223,609	15,087	77,507	0	1,316,203
⑤ 受取受託金					
受取事業市受託金	106,785	0	0	0	106,785
受取受託金計	106,785	0	0	0	106,785
⑥ 受取補助金等					
受取市補助金	425	0	0	0	425
受取補助金等計	425	0	0	0	425
⑦ 受取負担金					
受取事業市負担金	82,525	0	0	0	82,525
受取負担金計	82,525	0	0	0	82,525
⑧ 受取寄付金					
受取寄付金	100	0	0	0	100
受取仲道子供音楽事業資産振替額	1,108	0	0	0	1,108
受取事業基金振替額	6,095	0	0	0	6,095
受取寄付金計	7,303	0	0	0	7,303

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
⑨ 雑収益					
受取利息	0	0	6	0	6
雑収益	886	10	0	0	896
雑収益計	886	10	6	0	902
經常収益計	2,248,024	27,474	81,589	990	2,356,097
(2) 經常費用					
① 事業費					
役員報酬	3,676	27	0	0	3,703
給料手当	372,501	1,994	0	0	374,495
臨時雇賃金	46,025	124	0	0	46,149
退職給付費用	22,978	97	0	0	23,075
福利厚生費	62,908	331	0	0	63,239
交際費	419	0	0	0	419
会議費	261	0	0	0	261
懇談会費	3,315	0	0	0	3,315
旅費交通費	18,181	5	0	0	18,186
通信運搬費	11,793	63	0	0	11,856
減価償却費	11,615	214	0	0	11,829
消耗什器備品費	2,996	36	0	0	3,032
消耗品費	26,225	194	0	0	26,419
修繕費	18,100	242	0	0	18,342
印刷製本費	29,113	28	0	0	29,141
燃料費	287	4	0	0	291
光熱水料費	106,105	4	0	0	106,109
使用料賃借料	34,354	220	0	0	34,574
保険料	4,021	49	0	0	4,070
諸謝金	43,543	22	0	0	43,565
租税公課	44,155	436	0	0	44,591
支払負担金	809,564	17,569	0	0	827,133
支払助成金	5,087	0	0	0	5,087
委託費	725,566	8,258	0	0	733,824
手数料	12,863	58	0	0	12,921
広告料	16,591	0	0	0	16,591
支払利息	385	8	0	0	393
事業費計	2,432,627	29,983	0	0	2,462,610
② 管理費					
役員報酬	0	0	3,350	0	3,350
給料手当	0	0	50,663	0	50,663
退職給付費用	0	0	6,485	0	6,485
福利厚生費	0	0	8,451	0	8,451
交際費	0	0	80	0	80
旅費交通費	0	0	250	0	250
通信運搬費	0	0	260	0	260
減価償却費	0	0	903	0	903

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
消耗什器備品費	0	0	55	0	55
消耗品費	0	0	173	0	173
印刷製本費	0	0	90	0	90
使用料賃借料	0	0	1,190	990	200
保険料	0	0	728	0	728
諸謝金	0	0	70	0	70
租税公課	0	0	924	0	924
支払負担金	0	0	450	0	450
委託費	0	0	10,725	0	10,725
手数料	0	0	1,330	0	1,330
支払利息	0	0	18	0	18
管理費計	0	0	86,195	990	85,205
経常費用計	2,432,627	29,983	86,195	990	2,547,815
当期経常増減額	△ 184,603	△ 2,509	△ 4,606	0	△ 191,718
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 184,603	△ 2,509	△ 4,606	0	△ 191,718
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 184,603	△ 2,509	△ 4,606	0	△ 191,718
一般正味財産期首残額	1,571,202	72,622	1,497,312	0	3,141,136
一般正味財産期末残額	1,386,599	70,113	1,492,706	0	2,949,418
II 指定正味財産増減の部					
① 特定資産運用益					
特定資産受取利息	3	0	0	0	3
② 一般正味財産への振替額					
一般正味財産への振替額	△ 7,206	0	0	0	△ 7,206
当期指定正味財産増減額	△ 7,203	0	0	0	△ 7,203
指定正味財産期首残高	192,689	0	0	0	192,689
指定正味財産期末残高	185,486	0	0	0	185,486
III 正味財産期末残高	1,572,085	70,113	1,492,706	0	3,134,904

資金調達及び設備投資の見込みについて

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

- (1) 資金調達の見込みについて
当期中における借入れの予定はありません。
- (2) 設備投資の見込みについて
当期中における重要な設備投資（除去または売却を含む。）の予定はありません。